

9 信州ブランド確立プロジェクト

H29予算案
3億6,969万7千円

信州ブランドの普及・拡大

●信州ブランド普及浸透のための意識共有と発信(1615万6千円) 観光部

- ・関係者間の意識共有を図るためのワークショップの実施
- ・webを活用したプロモーションの実施

●銀座NAGANOの運営と戦略的な広報発信(1億7216万1千円) 観光部

- ・信州の様々な情報を伝える「しあわせ信州コンシェルジュ(仮称)」の設置
- ・銀座NAGANOでのイベントから現地の体験へと広げる地域誘客・誘引イベントの実施



●「おいしい信州ふーど(風土)」プロジェクトの推進(1040万6千円) 農政部

- ・おいしい信州ふーど(風土)WEEKの開催
- ・食品製造や観光等他産業との連携による「売れる商品づくり」と販路開拓
- ・部局連携による商談会・トップセールスの開催



➡ 信州の強みを徹底的に発信してブランド構築 おいしい信州ふーど(風土)

(H28年度までの主な成果)

- ・銀座NAGANOオープンからの来場者数が170万人を突破 (H28.12)
- ・銀座NAGANOイベント実施延べ団体数が1000団体を突破 (H28.12)
- ・「おいしい信州ふーど(風土)」プロジェクトによる県民認知度向上

H24年度: 24% → H28年度: 54%



銀座NAGANO
「しあわせ信州朝クラス」

新たな価値の創造・発信

●おいしさの定量化による高付加価値食品開発の推進(329万5千円)

産業労働部

- ・長野県産食品の高付加価値化とブランド化のため、風味評価モデルの構築及びおいしさ分析シートによるおいしさ指標の見える化を推進

●信州ワインバレー構想の推進(3755万7千円) 産業労働部・観光部・農政部

- ・【ワイン産地の形成】苗木の増産支援、栽培情報プラットフォームを構築
ワイン生産アカデミーの開催、醸造設備内製化の促進
- ・【プロモーション】銀座NAGANO ワインセミナー
首都圏でのワインフェスの開催
- ・【価値の向上】国際コンクールへの出品支援、世界的な有識者の招へい

●信州ジビエの活用推進(1273万3千円) 林務部

- ・信州デスティネーションキャンペーンにおいて、信州ジビエフェア等のPR活動を展開
- ・ブランド力強化へ向け、新たな供給モデルの構築
- ・産学官連携によるシカ皮等の商品開発 等



信州ジビエフェアの開催

●「信州産」マーケティングの推進(530万1千円) 観光部

- ・大都市圏への県産品の販路拡大のため、商談会などのマーケティング活動を展開

➡ 信州ブランドに相応しい商品づくり

(H28年度までの主な成果)

- ・しあわせ信州食品開発センターによる新食品開発支援 (H28見込み 58件)
- ・信州ワインバレー構想の具現化
「ワイン生産アカデミー」の開催 (受講者: H25~H28 156名)
NAGANO WINE FES in TOKYOの実施 (H25~H28)
- ・JR東日本との協働により「信州ジビエフェア」を展開 (H28.11~H29.2)
- ・シカ皮等の利用モデルとなる商品の提案等 (6商品)



NAGANO WINE FES in TOKYO

達成目標(指標名)	計画策定時の現状	最新実績値	目標(H29)	見通し
「信州ブランド戦略」の県民認知度	—	72.7% (H27年度)	80% (年度)	○
都道府県別ランキング	地域ブランドランキング 17位 (H22年度) 【参考】地域ブランド調査魅力度ランキング※ 8位 (H23年度)	地域ブランドランキング 13位 (H24年度) 【参考】地域ブランド調査魅力度ランキング 8位 (H28年度)	10位以内 (年度)	

※魅力度ランキング出典: 地域ブランド調査(株式会社ブランド総合研究所)

行政経営改革

- ・ 県民の期待に応え、県民にとってよりよいサービスを提供します。
- ・ 職員がしごとをしやすい環境を整えることで、創造的な業務に従事する時間の確保と意欲の向上を図り、しごとの質と生産性を向上させます。

1 「県民起点」の意識改革

共感

県民の要請を的確に把握し「行政のプロ」意識を持って行動します。

- 新たな「長野県行政経営理念」の徹底
- コンプライアンスを「自分ごと化」して考える意識づけ
 - ・ コンプライアンス委員会や各職場での討議による意識の定着
- 職員同士や県民との間の「共感」の風土づくり
 - ・ 「地域振興局」の新設、次期総合5か年計画の策定を契機とした、幹部職員によるタウンミーティングの実施など全ての職員による県民対話の促進と共感力の醸成
 - ・ 県民に喜んでいただいた事例を共有・発信する「笑顔プロジェクト」
 - ・ 職員の意欲を引き出す「ほめる週間」を通じたほめる習慣の定着
 - ・ 様々な団体との協定締結や連携などにより、県民協働を更に推進
 - ・ 地域活動への参加など職員の「地域に飛び出す公務員」活動を促進

2 風通しのよい対話にあふれた組織風土づくり

対話

自由闊達な議論を通じ、様々な課題にチームとしての的確に対応します。

- 対話する組織への変革
 - ・ 「三行報告」の励行による上司と部下のコミュニケーション活性化
 - ・ コミュニケーション向上のための職員研修の実施
 - ・ 政策立案過程や職員研修などへのワークショップの取り入れ
 - ・ ランチミーティング、タウンミーティングなど県民との対話の促進
- 公益通報制度の改善、定着
 - 相談内容に応じた段階的で多様な職員相談窓口を設置
- ハラスメント防止の環境整備
 - ハラスメントについて幅広く捉え、パワハラ、セクハラその他のハラスメント防止を推進

3 しごとの質・生産性向上とリスクマネジメント

しごとの効率化と職員の意欲を高める取組により、しごとの質と生産性を向上させるとともに、リスクマネジメントに取り組みます。

○ しごとの質と生産性の向上

▽ 創造的な業務に従事する時間の確保

- ・ 内部調整プロセスの簡素化
- ・ テレビ会議、ペーパーレス会議などICTの積極的な活用を図る「スマート県庁」構築の取組

▽ ワークライフバランスの推進による職員の意欲の向上

- ・ 管理職員のマネジメントなどによる総労働時間の短縮
- ・ サテライトオフィスや自宅でのテレワークなど多様な働き方の促進

○ リスクマネジメント

- ・ 「リスクシート」を活用して予想されるリスクを拾い出し、影響度、緊急度の高いものから順次対策を検討・実行し、業務上のリスクを抑制

長野県総務部財政課

住 所 〒380-8570

長野市大字南長野字幅下692-2

電 話 026-235-7039(直通)

026-232-0111(内線2053)

F A X 026-235-7475

E-mail zaisei@pref.nagano.lg.jp

長野県財政の状況など更に詳しい情報は財政課のホームページで御覧いただけます。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/zaisei/kensei/soshiki/soshiki/kencho/zaisei/index.html>